

# 神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2021年  
7月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者  
司祭 上原 信幸

印刷所  
文明堂印刷所

神様を見んさい。  
要らん方は見んさんな。

司祭 ヨシユア 長 田 吉 史



イエス様ご自分の故郷、ナザレで受け入れられなかつたのは、人々が自分の尺度に合わせてイエス様を見ていたことが問題でした。しかし私たちは、イエス様の故郷の人々のことを決してけしからんとは言えません。私たちに、自分の尺度に合わせた神

様のイメージがあるからです。父なる神様はこうあつて欲しい、こうして欲しいと期待することがあります。もし自分の期待通りであれば納得するけれども、そうではなく自分の期待通りに事が進まなければ、神様に躓いたり、疑ったり、神様とはこういう方だと心の内外で呟くこともあります。

## 《どうを向いているのか》

それは、私たちが「どこを向いているのか」、つまり神様ではなく、自分自身や周りの人の方を向いていることがそうさせてしまっているように思うのです。私たちは「自分は正しい」「自分は優れている」「あの人はすばらしい」「育ちがいい」「権威・権力がある」などで物事を判断することがよくあります。「力関係」で物事を判断する人、忖度する人もたくさんおられます。実際に今、権力や権威を持っている人の中に、そうしている人がいます。それによって、自分を守ろうとしているようです。でもそのように、自分自身であつたり、自分が思う正しさであつたり、その向こう側には出て行くことができなない姿であつたり、自分で自分を必死に守る姿であつたり、そういう姿も自分の尺

度に合わせた神様のイメージを作り上げていると言えます。

## 《神様の方を見なさい》

ある方が、かつてお母さんから聞かされたという言葉を思い出します。その言葉とは、「人ではなく、神様を見んさい。要らぬ方は見んさん」というものでした。これは、そのお話を聞かせてくださった方が、ある人の言動に対して激しい怒り、憤り、失望を覚えた時に、お母さんから聞かされた言葉だつたそうです。しかし状況はまったく違ふかもしれません、そのお母さんの言葉には、イエス様がご自分の故郷ナザレで受け入れられなかつた物語が伝えているメッセージがあるように思っています。

## 《霊的な糧によつて》

私たちには神様以外を見ても、しつこく誘惑が、本当にたくさんあります。その誘惑は、一つには人を恐れていることが

問題となつていると言えそうです。それ故に、私たちは普段から「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」という言葉に聞く姿に、何度も何度も立ち返らなくてはなりません。それは、私たちが本来、神様によつて語られていたみ言葉によつて養われ、そして生かされる存在だからです。その霊的な糧によつてこそ、誘惑に立ち向かうようになり、いや立ち向かわされるようになり、自分自身でも、周りの人でもなく、要らぬ方でもなく、まっすぐに神様を向く、神様を見つめる姿へと変容させられていくのです。コロナ禍で、教会に集えない時もある今、私たちは改めて自分自身を見つめ返したいものであります。

神戸聖三カエル教会副牧師  
神戸松蔭女子学院大学  
チャプレン

# 神戸教区歴史編纂 委員会のご紹介

## ■歴史編纂 委員会の活動

歴史編纂委員会は一九五三年一月開催の第十六回定期教区会の決議を経て発足し、教区が行ってきた様々な活動に関する資料・文献や映像などを収集して保管すると共に、

これ等の貴重な資料を整理・集約して後世の方々に漏れなく正確に伝えるべく、歴史年表・文献目録・教区統計データ・歴代の聖職者名簿・組織&規則類の変遷記録などの作成に努めて参りました。

この様な歴史編纂委員会による永年に亘る地道な活動の結果が、教役者が手分けして一九八五年と一九八七年に翻訳・出版した『The Fellowship Letters 八代斌助主教の前任者、バジル・シンプソン主教が在英・神戸後援会にあてた書簡集』上・下や、教区初の歴史書となる『神戸教区一四〇年史』の刊行(二〇一七年)となつて結実しました。

その他の活動として、教区事務所三階・図書室の一角に設けた「歴史編纂委員会の資料棚」に、神戸教区に関わる歴史的に貴重な様々な資料や記録を集めて一括管理し、閲覧や貸出のご希望に対応できるように努めております。とはいえ、常駐者が居る訳ではなく、日常的な対応は教区事務所にお願ひしている関係上、

充分な対応は出来かねますが、利用される皆様のご協力によって円滑な運営につなげたいと願っております。保管資料の閲覧や貸出をご希望の方は、教区事務所を通じて歴史編纂委員会までご連絡下さい。

## ■バジル書簡 第三巻の刊行

本誌四頁に本書の紹介記事を載せています。尚、本書は本年四月に各教会にお届けしていますので、皆様どうかお手に取つてご一読下さい。



(バジル書簡第3巻)

## ■教区ホームページ内に 歴史編纂委員会の コーナーが誕生

このたび、教区のホームページ内に歴史編纂委員会のコーナーが誕生しました。

これから少しずつ掲載数を増やし、内容の充実に努めて参りますが、先ずはバジル書簡の上下と第三巻、教区会議事録、神のおとずれ、戦時中の記録、歴代教役者リスト等から始める予定です。このコーナーを通して一人でも多く

の方が教区の歴史に興味を持ち、先人の方々の信仰と宣教の足跡に思いを馳せて下さることを、心より希望いたします。

尚、教区HP「歴史編纂委員会コーナー」の運営基準・掲載基準は、以下の通りです。

一、神戸教区の歴史的に重要な記録や貴重なデータ類を、本コーナーに掲載することにより、一四〇余年に亘る宣教の足跡を、誰もが手軽に辿れるようにする。

二、著作権・肖像権など個人のプライバシーや各種の権利を侵害しないよう入念にチェックし、了解を得たうえで掲載する。

三、本コーナーに掲載する文書・データ・画像・写真等の、無断転載や転用を一切禁止する。

四、本コーナーに掲載する歴史記録の範囲は、「前任主教までの記録」とする。

## ■教会保有資料 アンケート調査について

各教会で保有する資料の保管状況について、アンケート調査を実施中です。皆様からいただいた回答やご意見を基

にして、貴重な歴史資料の散逸防止策や、保管が困難になった教会の歴史資料を「歴史編纂委員会」でお預かりするなどの対応を、実施して参ります。

## ■「ピカステス主教による 堅信記録」の配布について

聖公会歴史資料研究会の前田司祭(東京教区)が纏められたピカステス主教の堅信記録の中に、神戸教区関係者の記録が載っていました。そこで、神戸教区の記録を抜き出して、当該教会宛に配布しますので、届きましたら、このデータを用いて、教籍簿の見直し等にお役立て下さい。

(歴史編纂委員長)  
大東康人

# オーガスタンの まなざし



主教 小林 尚明

## 「コロナ禍の中で」

森一弘司教という方をご存じでしょうか。ローマ・カトリック教会の司教様で、沢山の本を出されています。

今回『今を生きる』そのために『』という本を読ませていただきました。その本のプロローグの中で、今回のコロナ禍にあつて「一人ひとり、不安の中で、真摯に自身と向き合い、それぞれが、何があつても押しつぶされない、確かなものを見出していかねばならないのではないか」と問われています。

内容は豊かで、無関心というウイルスに感染している日本人は、どの国よりも孤独の中に生きている、という指摘は心に残りました。

そして、「エピソード〈コロナ禍の今を生きるために〉」の中で、イエス様の荒野の誘惑の物語を引用され「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言

葉で生きる(マタイ四の三、四)」を示し、「悪魔の誘惑を受けたキリストは、生きていくためにはパンという食物が必要なことは認めながら、しかし、パンなど物質的なものだけでは人は満たされず、それを求めた人生だけでは、人の生涯は空虚なままに終わってしまう。人を真に満たし、慰め、生きる輝きを与えてくれるのは、神とのつながりであると答えたのです」と司教様は語られています。

また、「感染予防のために、不要不急の外出自粛をもたらした今日の状況は、私たちが自ら望み求めたものではありませんが、ある意味で、私たちから一切を奪い、私たちを現代の『荒野』に置いた。私はそう思っています。しかし、置かれた場所が荒野であるからこそ、私たちは今、真摯に自分に向き合い、考えることができ、自分にとって何がもっとも大切なのかと振り返り、自分なりの価値観や人生観に気づいていけるのです」と語っておられます。

みなさんは、このコロナ禍の中で、そこからの解放だけを願うのではなく、何が自分にとって本当は大切なものなのかを考えるチャンスととらえてみられたらと思います。そのことを静かに考えてみましょう。(神戸教区主教)

# ボーイスカウト広島第二十六団 五十二年の歴史に幕を閉じる

ボーイスカウト広島第二十六団は、一九六九年、今は亡き中道主教、嶋田執事が中心となり広島市西区井口の聖モニカ幼稚園に付属する聖モニカ幼稚園を拠点にスタートしました。

私が携わったのは一九八五年。長男が小三の時入団と同時に当時のカブ隊長、吉田雅人司祭(現東北教区主教)が、登山三昧の私に「山登りだけでも良いから手伝って欲しい」と言われたのがきっかけでした。赤いネッカチーフを掛けられ、やがてリーダーの誓いを立て、デンダッドから副長、そして隊長にと、トントン拍子に出世(?)して三十六年が経ちました。その間、様々な子供たちに出会い、多くのリーダーたちと交わり、研鑽できたことは自分の生涯の宝となりました。

出られない」と、悩みを打ち明けたことがあります。「宗教心なくして、ボランティア活動はありえないよ」と言われた事は今も心に残っています。



ボーイスカウト広島第26団 解団感謝礼拝  
2021年4月26日(日) 聖モニカ幼稚園

一時はカブスカウトだけでも四十〜五十人在籍していましたが。それが昨今の複雑な事情により、減少の一途、班活動、班対抗等、ボーイスカウト本来の活動が困難となりました。又新たな指導者への継承の滞りと、現指導者の高齢化が重なり活動の継続が難し

く、昨年十月の団委員会で廃団を決めるに至りましたが、私は「これで本当に良いのだろうか? すべてやり終えたと言えるのか?」と自分に問い、神に祈りました。三十六年間大きな事故も無く続けられた事を今は感謝するばかりです。

これから私は、最後のスカウトたちが移籍した他団で、今まで以上に楽しく活動が出来るよう祈り、支援を続けていこうと思います。解団感謝礼拝でそのことを誓いました。

長い間、二十六団を支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。殊に毎礼拝で聖書のお話しをして下さった歴代聖職の皆様、子供たちの心に大きな糧となっている事と思います。又、携わってこられた諸先輩方、解団という結果になり申し訳ございません。

二十六団の幕は閉じられてもこの絆は永遠に続くと思っております。

広島復活教会信徒・  
広島第二十六団  
カブスカウト隊長  
永田弘之

# 鳩だより

《敬称略》

## ご逝去

五月二十五日(火)

クリスチナ 大澤 ツヤ子  
松山聖アンデレ教会

## 祝聖婚

三月六日(土)

グレース 藤井 まりあ  
成瀬 亮  
神戸聖ヨハネ教会

## 諸行事中止のお知らせ

○中高生大会は新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、今年も中止します。

## バジル書簡 第三巻のご紹介

バジル主教が英国の S. P. G 宣教団体に宛てた書簡集

は、これまで歴史編纂委員会の手で上下二巻を日本語訳・出版しましたが、このたび信岡章人司祭が所蔵する未発表の英文原稿を基に、中原康貴司祭が全文を翻訳し、その続編となる第三巻を歴史編纂委員会から出版し、各教会にお送りしました。

本書を通じて日本人会衆に対する大いなる慈しみと、深い愛情を注がれたバジル主教

とストロング司祭の強い使命感と心温まる情熱に、思いを馳せて頂ければ幸甚でございます。

尚、本書出版の経緯と二師の思い出を信岡章人司祭に語って頂きましたので、どうか一読ください。

## 《信岡章人司祭から伺った二師の思い出》

神戸教区一四〇年史のバジル主教編などを執筆した中原康貴司祭に、ストロング司祭から預かった未発表書簡の存在を知らせ、バジル書簡集の「続編」翻訳の大役をお願いし

た結果が本書であり、中原司祭には、心からの感謝と大変な労苦へのねぎらいの言葉を捧げます。

当時はまだ十歳であった私の目にバジル主教の眼差しは慈愛に満ち、英国式の上質な食事マナーも優しく教えて頂きました。そのバジル主教は、一九二五年の主教就任から十六年間、神戸を拠点にした精力的な宣教活動に邁進され、夜半に船で松山に向かい、聖餐式を献げて夕刻に神戸に戻るといふ八面六臂の活劇も、鮮明に記憶しています。

その時に右腕として支えたのがストロング司祭です。バジル主教の日本宣教の同士として赴任したストロング司祭の重要な役割は聖職志願者の訓練で、私の父(信岡修吉司祭)をはじめ多くの司祭が師の薫陶を受け、私は幼児洗礼を授かりました。

その後、二十四年ぶりに英国の神学校で再会したストロング司祭から伺った数々の思い出話の基本は「教区の調和」「聖餐式の執行」で、実現に尽力された両師のお姿はまさに「天使の跳躍」に値します。福音を伝える努力を惜しまれな

かった両師のお働きが、神戸教区の宣教の根底を成しているのです。

(歴史編纂委員長・大東康人)

## 教区新型コロナウイルス感染症対策室からのお知らせ

対策室では緊急事態宣言により教会の礼拝を自粛せざるを得なくなった場合などに、その教会の信徒・関係者の皆様に対する礼拝支援として教区のホームページから左記の内容を配信しております。どうぞ、ご利用ください。

- 一. 自宅での祈り(式文)
- 二. 特祷・聖書日課
- 三. 主日の説教動画

(但し緊急事態宣言発出期間内)  
(対策室長・司祭 瀬山会治)

〈教区ホームページのURL〉  
<https://www.nskk-kobe.org/>

## 8月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2021年8月5日(木) 午前10:30  
場所 神戸聖ミカエル大聖堂  
司式 主教 小林 尚明  
説教 司祭 八代 智

※中止の場合がございます。恐れ入りますが、ご出席される方は、事前に教区事務所までお問合せ下さい。よろしくお願い致します。  
教区事務所 TEL.078-351-5469

## \* 8月の記念逝去教役者

3日	伝道師	益田 喜代吉
3日	司祭	シドニー・スワソン
5日	主教	エドワード・ビカステス
7日	宣教師	エミー・ウーレイ
9日	宣教師	E. トンプソン
9日	司祭	ミカエル 岡崎 正
14日	司祭	ピーター・ジャクソン
17日	司祭	パウロ 古本 正夫
17日	伝道師	野田 璞 水
18日	司祭	関 末 吉 時 信
20日	司祭	ヨハネ 末 吉 時 信
25日	宣教師	エリザ・リットソン
27日	司祭	ダミアン 村瀬 敬 輔

